

平成21年 7月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成21年7月29日（水）午後1時30分～午後2時55分

2 場 所 市役所6階 604会議室

3 出席者 [委員] 富田常世委員長、古敷谷千賀子委員長職務代理者、清水三和子委員、守谷靖委員、佐藤徳一教育長
[事務局] 大沢賢教育総務部長、内野正行学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、中正美学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、則武辰夫社会教育担当参事兼社会教育課長、又吉春雄生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中村藤司保健給食担当参事兼保健給食課長、村上光利教育総務課長、関口恭一スポーツ振興課長、金子美也子文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、齊藤仁教育センター所長、平川聖一教育総務課主幹兼教育企画室長、神谷明社会教育課主幹兼中央公民館長、嶋津文行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長
[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 別添のとおり（24名）

6 開 会

本日の議案は、第12号から第15号の4件。議案第13号「平成21年度教育費予算（9月補正）について」は、予算に関する審議のため、また議案第14号「平成22年度使用中学校用教科用図書の採択について」及び議案第15号「平成22年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について」は、審議、検討又は協議に関する情報のため、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

なお、議案第12号「市立幼稚園について」の審議に関しては、先に、守谷委員から申し出があり、また地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第5項との兼ね合いもあることから、審議においては本人の申し出に従い、守谷委員には席を外していただくことになった。

【 守谷委員退室 午後1時33分 】

7 議 題

議案第12号 市立幼稚園について

資料に則り、中正美学校教育部次長兼学校教育課長から説明がなされた。
以下、質疑。

(古敷谷委員長職務代理者)

4歳児を募集しないということだが、5歳児の途中入園は可能なのか。

(中正美学校教育部次長)

35人の定員内であれば差し支えないと思います。

(清水委員)

来年度、新入園児を募集しないということは、5歳児が卒園した後は、所沢幼稚園は廃園になるということか。

(中正美学校教育部次長)

所沢幼稚園については、平成21年度の4歳児の定足率が24%であることから、平成23年3月をもって廃園という方向で進めていきたいと考えています。

(清水委員)

前回の会議でも確認したと思うが、残された新5歳児への教育活動を手厚くしていくという方針は変わらないか。

(中正美学校教育部次長)

少人数の利点を活かし、よりきめ細かな指導を行うとともに、子どもたちの健やかな成長のために努力していきたいと考えています。

(古敷谷委員長職務代理者)

所沢第二幼稚園は当面続けていくと思うが、将来的には答申にもあるように廃止と考えていいのか。

(中正美学校教育部次長)

当面存続と考えています。答申では2園廃園となっていますので、これを尊重し、今後募集状況等を考慮しながら廃止の時期を検討していきたいと考えています。

(富田委員長)

廃園後の具体的な予定はあるのか。

(中正美学校教育部次長)

廃園後の跡地の利用については、教育委員会のみでは決められないため、今後、市長部局と協議していきます。昨今、待機児童の解消のために様々な手立てを講じていかなければならないと言われていることも考慮しながら、跡地利用について今後検討していきたいと考えています。

(古敷谷委員長職務代理者)

苦渋の選択だとは思いますが、平成16年から5年間協議をした結果であり、また予算面でも毎年教育費の占める割合が市全体の予算の中で増えているようなので、あれもこれもというわけにはいかないのかもしれない。できるだけ多くの子どもたちに利益が出るような方法を考えるしかないと思う。今のところ所沢第二幼稚園は存続できるということなので、1園だけは、やむを得ないと思う。

(清水委員)

市立幼稚園は、とてもいい教育をしてきたと思うが、社会状況の変化で、子どもが少なくなってきたり、働く親が増えてきている中、幼稚園、保育園も曲がり角にきており、色々なことを変えていかなければならない必要が出てきていると思う。そんな中、市立幼稚園も見直しが必要になってきたということだと思う。在園児の保護者の方々には辛いことだと思うが、答申に沿った方向で進めていくのが、今の社会状況に合っているのではないかと思う。

(富田委員長)

廃園後の予定について、市長部局と検討していくということだが、答申を尊重するとしても、何らかの形で幼児教育に対し所沢市として関与できるようなシステム作りを、市長部局に強くお願いしてもらえればありがたいと思う。

※ 富田委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

【 守谷委員入室 午後 1 時 4 4 分 】

【 傍聴者退室 午後 1 時 4 5 分 】

議案第 1 3 号 平成 2 1 年度教育費予算（9 月補正）について

資料に則り、村上教育総務課長、嶋津学校教育課教育指導担当主幹、齊藤教育センター所長、又吉生涯学習担当参事から順次説明がなされた。

以下、質疑。

(古敷谷委員長職務代理者)

宮前小学校、柳瀬小学校は、補助金を受けるに際して、特別に手を上げるものなのか、順番にお願いするものなのか。

(嶋津学校教育課教育指導担当主幹)

宮前小学校は、総合的な学習の時間で環境学習に力を入れており、今までの実績を踏まえて選定したものです。

(齊藤教育センター所長)

柳瀬小学校は、昨年度の英語の拠点校のなかから選定したものです。

(清水委員)

生涯学習推進センターは、車での来場者が多いのか。

(又吉生涯学習担当参事)

航空公園駅から徒歩で 2 0 分程度かかるので、公共交通機関の利用を促していますが、やはり車での来場が多いようです。

(守谷委員)

宮前小学校での研究成果はどのように活用されるのか。

(嶋津学校教育課教育指導担当主幹)

1 年間の研究成果を報告という形でまとめる予定です。

(守谷委員)

所沢第二幼稚園の産休代替職員については、ストックがあるのか、新たに募集するのか。

(村上教育総務課長)

新たに広報等で募集します。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第14号 平成22年度使用中学校用教科用図書の採択について

資料に則り、中正美学校教育部次長兼学校教育課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(古敷谷委員長職務代理者)

現場の先生方の意見が重要であり、多くの先生方が望むものが選ばれているようなので、これでいいと思う。

(清水委員)

これでよろしいと思う。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第15号 平成22年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について

資料に則り、中正美学校教育部次長兼学校教育課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(守谷委員)

特別支援学級でそれぞれ児童に合わせた教科用図書を使うというのは、非常にいいことだと思う。来年、入学してくる特別支援学級に在籍すると見込まれる児童に対しては、どのように対応するのか。

(中正美学校教育部次長)

1年生については、全て小学校用教科用図書を使用します。

(古敷谷委員長職務代理者)

今回、選択された教科用図書は、学年が上がっても同じものを使うのか。

(中正美学校教育部次長)

特別支援学級用教科用図書は、毎年、選択することが可能です。

(古敷谷委員長職務代理者)

それぞれの児童に合った教科用図書を使うことが、最も重要だと思う。

(富田委員長)

予算的には、対応可能なのか。

(中正美学校教育部次長)

2年生から、それぞれの児童に合った教科用図書を提供できます。

(清水委員)

低学年と高学年では、支援の度合いが異なると思うが、教科用図書の選定に当たっては、学年と支援の度合いのどちらを重視しているのか。

(中正美学校教育部次長)

それぞれの児童の能力、学力に合った教科用図書が選定されるものと考え

ています。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

【 退室者 2 名入室 午後 2 時 1 5 分 】

8 協議事項

- 教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書について資料に則り、村上教育総務課長から説明がなされた。

【 退室者 1 名入室 午後 2 時 2 0 分 】

以下、質疑。

(富田委員長)

前年度との改善点は、いい形になったと思う。5段階評価は各所属で行っているようだが、教育総務部と学校教育部との間で調整はあるのか。

(村上教育総務課長)

市では平成14年から事務事業評価を行っており、教育委員会の点検評価は、それを基本としています。1次評価は各所属長、2次評価は次長が行い、その後、外部評価をうけて修正を加えています。また、実施計画の中では予算措置も含め、優先順位を付けています。5段階評価では、これらが反映されたものになっています。しかしながら、昨年度も体系的な評価のあり方をとのご指摘がありましたので、検討していきたいと思えます。

(清水委員)

特別支援教育支援員配置事業は、今後非常に必要になってくる事業だと思うので、必要性はもっと強くてもいいのではないかと感じた。

(村上教育総務課長)

十分に内容をご覧いただき、ご示唆いただきたいと思えます。

- 中央公民館跡地利用について

資料に則り、則武社会教育担当参事兼社会教育課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(古敷谷委員長職務代理者)

新所沢複合施設には、体育館やテニスコートはあるのか。

(則武社会教育担当参事)

体育館は、既存のものをそのまま利用する予定です。

(大沢教育総務部長)

テニスコートについては、来年度以降、北野総合運動場に数面増設する予定です。今後の見通しとして、教育財産等利用検討委員会において、市全体としての方向が出ますので、その時点で議案としてご審議いただく予定です。

(清水委員)

来年新たに中央公民館ができた後、現在の中央公民館は利用できなくなるのか。

(大沢教育総務部長)

一度、市の普通財産として位置付け、市全体として今後の活用方法を検討していくこととなります。

9 報告事項

- 第1回所沢ビエンナーレ美術展「引込線」について（社会教育課）
- 発掘調査について（文化財保護課）

10 その他

- ・教育委員会8月定例会：8月26日（水）午後1時30分～ 602会議室
- ・教育委員会9月定例会：9月25日（金）午前10時00分～ 602会議室

11 閉会 午後2時55分